

○九州地方の地震活動

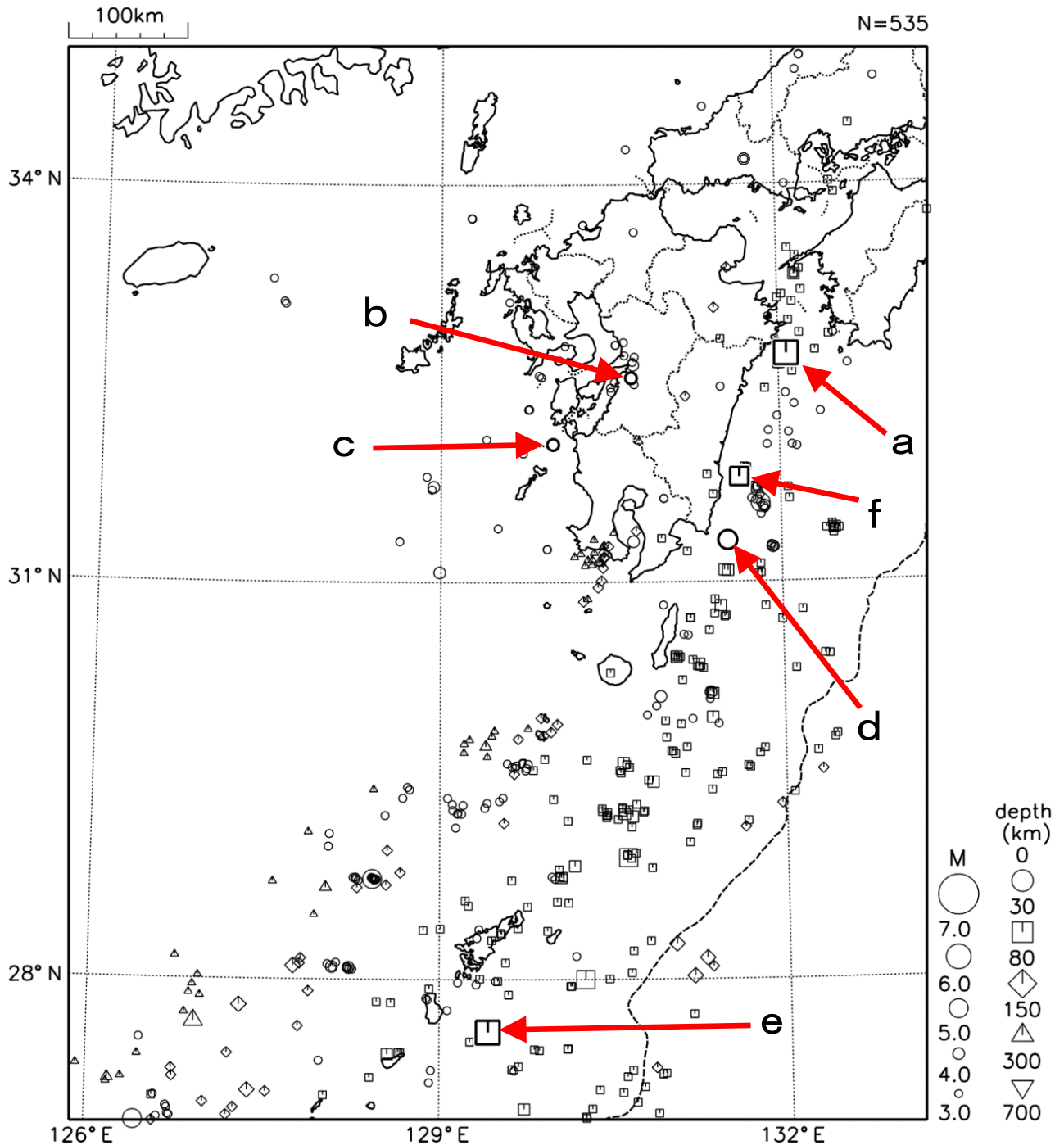


図9 九州地方の震央分布図（2022年1月1日～12月31日、M \geq 3.0）

[概況]

2022年に九州地方で震度4以上を観測した地震は6回（2021年は14回）であった。2022年中の主な地震活動は次のとおりである。

1月15日13時頃（日本時間）にトンガ諸島付近のフンガ・トンガ-フンガ・ハアパイ火山で発生した大規模噴火に伴い、全国各地で潮位変化を観測した。

1月22日01時08分に日向灘の深さ45kmでM6.6の地震（図9中のa）が発生し、大分県及び宮崎県で震度5強を観測したほか、九州地方から中部地方にかけて、及び伊豆諸島の一部で震度5弱～1を観測した。この地震により長周期地震動階級2を観測した。この地震により、重傷3人、軽傷10人、住家一部破損2棟などの被害が生じた（2022年11月18日現在、総務省消防庁による）。この地震の

発生直後、地震活動が一時的に活発となった。なお、12月31日までに震度1以上を観測した地震が55回（震度5強：1回、震度3：5回、震度2：13回、震度1：36回）発生した。これらの地震は、フィリピン海プレート内部で発生した。

6月26日21時44分に熊本県熊本地方の深さ9kmでM4.7の地震（図9中のb）が発生し、熊本県美里町で震度5弱を観測したほか、九州地方及び中国・四国地方一部で震度4～1を観測した。この地震は地殻内で発生した。

8月26日08時48分に天草灘の深さ12kmでM4.5の地震（図9中のc）が発生し、鹿児島県長島町で震度4を観測したほか、九州地方で震度3～1を観測した。この地震は陸のプレートの地殻内で発生した。

10月2日00時02分に大隅半島東方沖の深さ29kmでM5.9の地震（図9中のd）が発生し、宮崎県日南市で震度5弱を観測したほか、九州地方から近畿地方の一部にかけて震度4～1を観測した。この地震により長周期地震動階級2を観測した。この地震は、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。

12月13日23時25分に奄美大島近海の深さ18km（CMT解による）でM6.0の地震（図9中のe）が発生し、鹿児島県瀬戸内町（請島）で震度4を観測したほか、鹿児島県十島村（悪石島）から沖縄県国頭村にかけて震度3～1を観測した。

12月18日03時06分に日向灘の深さ34kmでM5.4の地震（図9中のf）が発生し、宮崎県宮崎市及び日南市で震度4を観測したほか、九州地方及び中国・四国地方で震度3～1を観測した。この地震はフィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。